

質問 東京都は、特別支援教育の理念及び東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画で、すべての学校における特別支援教育の推進を目指すとして、平成28年度から特別支援教室を各校に設置し、支援体制を確立するとして

いるが、教育長の見解と今後の計画について伺う。

教育長 町では、既に通級指導学級と固定学級を設置しているが、必要に応じて、さらに増設することとしている。今定例会で、第三小学校の分室を正規の通級指導学級にするため、教室改修経費の補

正予算を計上している。今後、より効果的な教育を提供するとともに、児童の通学時間の短縮や保護者の送迎の負担を解消するため、特別支援教室設置の必要性を確認していく。また、教員の確保や財政負担など、都と調整を図りながら特別支援教育の充実に努めていく。

小池 信一郎 議員 (自民新政会)

特別支援教室の整備目標を問う

教育長 第三小学校の分室を正規の通級学級にする



特別支援教育を行っている教室 (第一小学校)

尾作 武夫 議員 (自民新政会)

子ども条例の制定を

町長 条例化ではなく、具体的施策で応えたい

子ども条例は、いじめ、暴力、虐待、体罰、不登校或いは障がいのある子どもや外国籍、多様な文化的背景を持つ子どもの問題などに対して、子どもを主体として解決を図ったり、自己実現や成長発達を支援し、子どもの人権の保護、権利実現を目指すものである。しかも、それらのことを家庭や学校に任せるのではなく、まち全体で取り組んでいくべきである。そこで、子ども条例の制定をすべきと考えるが、町長、教育長の所見を伺う。

子ども一人ひとりの人権と幸せを守ることは、行政はもとより社会全体の責務であることは、言うまでもない。また、現行の法律もこれに沿って体系化され、なお進化しようとしている。提案の趣旨は十分に理解するが、子どもたちの成長に合わせて出産・育児・教育のステージごとに、愛情と十分な保護や看護のもとで育ち、社会の役に立つ人間として自立できるように、具体的な施策を展開することで応えたい。



10月に行われた「こどもフェスティバル」の様子 (ビューパーク)



青山 晋 議員 (公明党)

「通学路の安全対策について」再度問う

町長 防犯カメラを39台設置する

質問 「通学路の安全対策について」は以前に1度と今年6月議会で一般質問を行ったが、その後、松原地域内と殿ヶ谷地区内で小学生に対する犯罪が発生し、テレビや新聞でも大きく報道された。町は以前から防犯カメラの設置は、プライバシー侵害の懸念があるとしていたが、このように立て続けに事件が起こるようでは、犯罪抑止を優先すべきであり、早急に対応すべきと考え

た。今回の設置は全部で39台。「防犯カメラ作動中」の表示を付けるとともに、夜間でも作動するよう暗視カメラ機

能も備えたものとした。防犯カメラの適切な運用について広報に努め、さらに各地域の安全を守るため、町民に協力を求めていく。

るが所見を伺う。

町長 防犯カメラについて、福生警察とも調整した上で、各小学校の通学路を中心に設置すべき場所を選定した。併せて監視カメラ運用上のプライバシー保護に関する基準を策定し



26年度設置された防犯カメラ (石畑地区)



森 亘 議員 (自民新政会)

新庁舎建設は協働で

町長 基本計画案ができた段階で意見募集を行う予定である

質問 新庁舎建設にあたり、町側から立川断層帯沿いであっても、現庁舎敷地への建設が最善とする旨の説明がなされた。この案は、中核施設としての機能性、将来性、町民の生命財産を守る拠点として合理的な結論といえるのか。また、通常、新庁舎建設に向けては、協働性を重視し、広く住民説明を行い、機運を醸成し、住民参加を広く求め、協議を重ねながら決定していくものである。そこで、新庁舎問題について町長に所見を伺う。

を急ぐ必要があること、建設経費を抑制しなければならぬなどの理由から、新庁舎建設基本計画協議会を立ち上げ、協働しながら基本計画案の作成作業をしている。基本計画案ができた段階で、町民の意見募集を行う予定。

町長 通常の庁舎建設であれば、町民参加を求めて検討し、用地取得から時間をかけて具体化すべきである。しかし、今回は急に事務室を移転せざるを得なくなり、早急に不便解消が必要なこと、防災拠点としての機能強化

新たな学力向上策を

教育長 27年度から中学校で、民間の学習塾を活用した「瑞穂町フューチャースクール」を実施する予定。



現庁舎を視察する協議会委員